



35th Program

第 35 回京滋奈良ハートリズム研究会プログラム

平成 29 年 10 月 28 日 ホテルセントノーム京都 【平安の間】

- 14 : 30 会の辞 国立病院機構京都医療センター 循環器内科
安 珍守

- 14 : 35 ~ 15 : 50
一般演題 < I >

※一演題につき 15 分 (口述時間 10 分/質疑応答 5 分)

座長 未定 【 】

- I-A 『両心房を介したマクロリエントリー回路を形成した僧帽弁置換術及び Maze 術後の心房頻拍の 1 例』

京都大学医学部附属病院 循環器内科 田中 宗和

- I-B 『開心術後の複数の心房頻拍に対するアブレーション治療に難渋した 1 例』

三菱京都病院 心臓内科 川治 徹真

- I-C 『左房前壁の広範囲低電位領域が複数の心房頻拍に関与した Bentall・僧帽弁形成術後心不全症例』

天理よろづ相談所病院 循環器内科 西内 英

- I-D 『中隔 slow Kent を介する orthodromic AVRT と slow-slow 型 AVNRT の鑑別に苦慮した 1 例』

奈良県西和医療センター 循環器内科 矢野 裕己

- I-E 『SVC 隔離後に SVC 起部右房と心房間で 2:1 伝導する頻拍を呈した発作性心房細動の一例』

奈良県立医科大学 第一内科 平井 香衣子

■ 15 : 50 ~ 16 : 00 休 憩 (10 分)

■ 16 : 00 ~ 17 : 00 一般演題 < II >

座長 西田 卓【奈良県立医科大学 循環器内科】

II-A 『局所電位に十分な早期性を認めないにも関わらず根治しえた流出路起源の特発性心室性期外収縮の 3 症例』

大津赤十字病院 循環器科 大西 尚昭

II-B 『右上肺静脈及び上大静脈への両方向性 exit を有する focal type AF 2 例の検討』

京都桂病院 心臓血管センター内科 溝渕 正寛

II-C 『大心静脈遠位部 2Fr の micro-catheter において最早期局所電位を認めたが、大動脈バルサルバ洞から治療し得た心室性期外収縮の 2 例』

国立病院機構京都医療センター 循環器内科 安 珍守

II-D 『Cryoballoon ablation 後に急性麻痺性胃拡張を合併した発作性心房細動の 1 症例』

京都大学医学部附属病院 循環器内科 山上 新太郎

■ 17 : 00 ~ 17 : 10 休 憩 (10 分)

■ 17 : 10 ~ 18 : 10 特別講演

座長／安 珍守 【国立病院機構京都医療センター】

『未定』

福井大学医学部附属病院 循環器内科 教授

多田 浩 先生

■ 18 : 20 ~ 20 : 00 情報交換会 ・ 機器メーカー展示会

ホテルセントノーム京都 【貴船の間】